

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道248号 <small>おおた</small> 太田バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	岐阜県
起終点	自：岐阜県美濃加茂市御門町 至：岐阜県関市西田原				延長	8.7km
事業概要	<p>一般国道248号は愛知県蒲郡市を起点とし、岐阜県岐阜市に至る延長約96kmの幹線道路である。太田バイパスは県南部の主要都市間の地域連携促進及び美濃加茂市街地の交通混雑の緩和を目的とした8.7kmの4車線道路である。</p>					
S51年度事業化	S49年度都市計画決定	S52年度用地着手	S53年度工事着手			
全体事業費	360億円	事業進捗率	88%	供用済延長	4.7km	
計画交通量	17,400台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 2.8	(残事業)/(事業全体) 44 / 169億円 事業費：39/164億円 維持管理費：5 / 5億円	(残事業)/(事業全体) 470 / 470億円 走行時間短縮便益：393/393億円 走行費用減少便益：55 / 55億円 交通事故減少便益：22 / 22億円	平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路（岐阜南部横断ハイウェイ）の位置づけあり）</li> <li>個性ある地域の形成（地域連携プロジェクト（中濃地方拠点都市）を支援する） 他6項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道248号は県南部の都市を結ぶ主要幹線道路として、沿道地域の産業経済及び文化の向上に大きな役割を果たしており、美濃加茂市をはじめとする関係4市9町の首長で構成される国道248号バイパス線新設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	周辺の道路整備及び宅地開発による交通量の増加に伴い、本バイパスの必要性は益々増大している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収はほぼ完了し、工事促進中である。現在までに4.7kmを部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	都市部での事業であること及び大型補償物件が存在したため用地買収に時間を要したが、平成16年度には延長1.5kmの部分供用を目指し、順次整備を進める。					
施設の構造や工法の変更等	沿道開発事業との連携による道路建設費の縮減等コスト縮減を図っている。また、植樹帯の設置、法面植栽など環境にも配慮した計画としている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<div style="text-align: center;">太田バイパス L=8.7km</div>					

事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。